事前資料9

# 「こえる場!」ニュースレターVol.8 令和5年3月発行

# 「働けない」をこえる社会へ! ~就労体験等の機会創出に向けて~

生活困窮者への支援において、就労に向けた活動として、 相談者が福祉分野だけでなく、社会の様々な場への参加 ができればと考え、「こえる場!」のみなさまと現状を共 有し、一緒にできること等を考えました。





<取組紹介>

(福)芦屋市社会福祉協議会 三谷氏

(福)三田谷治療教育院 佐藤氏

生活が困窮している方、ひきこもり状態の方、人とのコ ミュニケーションに不安がある方達が、社会に出る時に勇 気を出して一歩を踏み出すことが難しい現状があります。

そのような方々を地域の中に受け入れて下さる土壌があ ることは大切だと感じています。

実際に「○○な場所があるので行ってみませんか?」と伝 えられることで一歩を踏み出せた方もいます。

一歩を踏み出すきっかけづくりのご協力を頂けますよう よろしくお願いします。



<会議参加企業・団体> アイザワ証券(株)/(学)芦屋学園芦屋大学/ (株)笠谷工務店/(福)三田谷治療教育院/ (福)聖徳園/生活協同組合コープこうべ/ 兵庫県住宅供給公社/(株)プランツ・キューブ

> 芦屋市就労準備支援事業の 現在の取組

#### 【プログラム】

- ・家事やお金の講座 ・体操教室
- ・畑作業・企業等での就労体験

### 【市内企業様のご協力】(抜粋)

- ・生活協同組合コープこうべ 様 め一むひろばでの商品の受け渡し
- ・(福)明倫福祉会 愛しや 様 リネンの交換

取組紹介のあとは、グループに分かれて 企業・団体の皆さんよりご意見やご提案をいただきました!(一部ご紹介)



ひきこもりについては、お客様からご相談いただくこともあり ますので、ひきこもりの支援等、チラシの配架等の協力はでき ると思います。

活動などの関わりを通して、それぞれの思いを知ることがで きることが多いですので、きっかけづくりが大切だと思いま す。相談に来ている方が役割を持てる機会があるといいと思 います。





実際に働いている人の姿を見てもらうことも刺激になるのでは ないかと思います。

若干であれば、受入も可能ですので、互いにいい影響を受けな がらやっていきたいです。

# ~後日、就労体験についてご提案いただいた企業・団体様にヒアリング~ 具体的な体験に向けて、ご検討くださいました!

## 株式会社符谷工務店 様

## アイザワ証券株式会社 様

こちらにできるのは、たくさん色んなきっかけ を作ってあげることだけです。

人によってどれがいいかわかりませんし、やってみないとどれだけ効果があるのかわかりません。

けれど、そのきっかけ、関わりの中で、少しでも 住む世界や視野を広げるお手伝いをしていき たいと思います。

#### 【今後のご協力案】

- ・会社の玄関口の植栽と水やり、掃除など
- ・茶屋之町秋まつりの手伝い
- ・竣工物件の現場見学

詐欺やマルチ商法が多くなっており、啓発セミナーを実施していますので、ひきこもりの方等がおられる場で、お金のセミナーを行うなど、ご協力できると思います。

また、お困りの方への支援のチラシも支店に配 架することはできます。

#### 【今後のご協力案】

- ・チラシの配架
- ・会議室スペースの貸し出し
- ・お金のセミナーの講師派遣

## 2/2こえる場!アンケートより抜粋

オンラインは移動時間がなく、参加 しやすいですが、意見交換は対面の ほうがしやすい。

セミナーなど一方通行はオンライン でもいいですが、意見交換はリアル のほうがしやすいと思う。 初めてオンラインでの開催となりましたが、開催方法等について意見をいただきました。

対面と同じく顔を見ながら会話でき、時間的に余裕ができるので参加しやすい。

参加企業様や他機関の皆様のお話しは 大変参考になりました。 今後も定期的に情報交換できるといいな と思います。

引き続き、ニュースレターにて、「こえる場!」の取組を発信していきます。 この取組の他、地域での取組にご協力いただけることがございましたら、 芦屋市地域福祉課までご連絡ください!



【「こえる場!」ロゴマーク】

形:芦屋のAと六甲山,笑顔の口やつながり, ひろがりが連鎖する様子をイメージしています。

色:芦屋の海・山,芦屋愛,未来と 多様な主体の参画をイメージしています。 ≪お問合せ≫ 芦屋市福祉部地域福祉課 TEL:0797-38-2040 FAX:0797-38-2060 Mail:

chiikifukushi@city.ashiya.lg.jp